

もの忘れ相談会 (相談無料・要申込)

もの忘れ相談プログラム(タッチパネルパソコン)を使った認知症のセルフチェック型テストができます。チェック後に地域包括支援センター職員がもの忘れや認知症についての相談をお受けします。

日時=7月14日(木) 13時~16時

場所=治道地区公民館 会議室 定員=4人(1人30分程度)

申込・問合せ=第三地域包括支援センター (☎57-2233・FAX57-1153)

在宅障害者交通費補助金の申請受付について

障害者の就労支援のため、事業所への通所にかかる交通費(年4回のうち今回は4~6月分)を補助します。

対象=下記①~③の全てにあてはまる人

①市内に住所を有している人、②身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳のいずれかを所有している人、③障害者総合支援法に基づく事業所で生産活動を行い工賃を支給されている人

※生活保護受給者で、生活保護法により移送費を受けることができる人は対象になりません。

補助内容=事業所の通所時に公共交通機関(電車・バスに限る)を利用した場合の交通費の2分の1とし、上限額は1ヵ月あたり1万円となります

申請書配布期間=6月23日(木)~7月15日(金)

申請書受付期間=7月4日(月)~15日(金)

申込・問合せ=社会福祉協議会 福祉課 (☎53-6531・FAX55-0986)(土・日曜除く9時~17時)

膠原病 医療講演会 & 医療相談会のお知らせ (参加費無料、要申込)

膠原病についての正しい知識を得て、日常で抱えている不安や悩みを少しでも解消し、病気と上手に付き合っていく方法を見つけませんか。

内容=『膠原病と診断されたら』最新の治療から合併症まで

講師=杉山 昌史さん(近畿大学奈良病院 膠原病内科 科長)

日時=7月9日(土)12時~受付(時間厳守)

13時10分~14時10分 講演会

14時10分~15時 相談会(杉山さんによる相談)

場所=県社会福祉総合センター 5階研修室B

対象=膠原病患者、家族、医療従事者など

定員=50人

申込・問合せ=7月8日(金)までに全国膠原病友の会 奈良支部 大森 (☎・FAX0744-42-0699)へ (障害福祉課)

ガスこんろの事故防止について

6月を迎え、梅雨の季節となってきました。この季節になると、「火災は起こらない。」と気が緩んでいませんか?

近年IHクッキングヒーターの設置が進んでいますが未だ30%程度であり、大半の家庭にはガスこんろが設置されています。ガスこんろの事故事例は50歳を超える人たちの事故が多く、その約7割は使用者の誤使用や不注意によるものです。事故防止には次の3点にご注意ください。

- ・調理中はその場から絶対に離れないでください。
- ・ガスこんろの周辺に燃えやすいタオルやふきん等を置かないでください。
- ・油污れ等をこまめにふき取ってください。

平成28年末に発生した、新潟県糸魚川市の大規模火災もガスこんろの消し忘れによるものでした。火災はちょっとした不注意から起こります。みなさんも火の取り扱いには十分注意してください。

問合せ=奈良県広域消防組合 大和郡山消防署 予防課 (☎59-1289)

認知症サポーター養成講座 (受講無料・要申込)

~認知症になっても安心して暮らせるまちづくり~

認知症の人や家族を見守る、認知症サポーターになりませんか?

日時=7月5日(火)10時~11時30分

場所=市役所305会議室 定員=10人

内容=認知症の症状と対応、予防についての基礎知識など講座終了後、もの忘れ相談プログラム(タッチパネルパソコン)を使用してももの忘れ相談を行います(希望者のみ・要申込)

申込・問合せ=地域包括支援センター

(☎55-7733・FAX55-6831)

雨水タンクの設置には補助金が交付されます

雨水タンクは、大雨時に雨どいからの雨水を一時的にタンクに貯めることにより、河川に流れ込む雨水の量を減らし、川の氾濫を抑制する効果があり、水害に強いまちづくりを促進することができます。また、貯まった水は庭木への散水や打ち水などに使うこともできますのでエコライフの一助としてご活用ください。

補助金額=雨水タンク本体価格と設置費の半額(上限4万5千円)

※対象雨水タンクは雨樋より雨水を貯留する機能を有する物でかつ市販されている物に限ります。

※補助には交付要件を満たす必要があります。

※申請用紙等必要書類は、随時建設課窓口にて配布しています。

問合せ=建設課 治水係(内線613)